

cEdgeとvManage間でのファイルの転送

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[vManage CLIを使用したcEdgeからのファイルのコピー](#)

[オプション1:Viptela CLI](#)

[オプション2:vShell CLI](#)

[確認](#)

[vManage CLIを使用したcEdgeへのファイルの送信](#)

[オプション1:Viptela CLI](#)

[オプション2:vShell CLI](#)

[確認](#)

[vManageからローカルコンピュータへのファイルのコピー](#)

[選択肢1. Linux/Mac端末](#)

[オプション2:FileZillaまたはその他のFTPまたはSFTPクライアント](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、CLIを使用してリモートcEdgeとローカルvManageの間でファイルを転送する方法について説明します。

著者：Cisco TACエンジニア、Eric Garcia Guzman

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Software-Defined Wide Area Network(SD-WAN)
- 基本的なLinux

使用するコンポーネント

このドキュメントは、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- cEdgeバージョン17.5.1
- vManageバージョン20.5.1

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド

キュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

CLIを使用してリモートcEdgeとローカルvManageの間でファイルを転送するには、次の2つの方法があります。

- リモートcEdgeからローカルvManageファイルシステムにファイルを取得する
- vManage CLIによるvManageからcEdgeへのファイルのプッシュ

ファイルのある場所から別の場所に転送することは困難な作業になります。最も一般的な原因は次のとおりです。

- cEdgeファイルシステムに外部からアクセスできない
- FTP/TFTP/SFTPが使用できないか、到達可能でない
- USBまたは大容量ストレージにファイルを直接コピーするためにルータに物理的にアクセスできない

ただし、SD-WANソリューションでは、コントロール接続を使用して、vManageとリモートcEdge間のコピーファイルを保護できます。

この転送は、cEdgeブートフラッシュファイルシステムからvManageのローカルユーザホームディレクトリに行くか、またはその逆に行くことができます。ファイルの例は次のとおりです。

- Admin-tech
- Cisco IOS® XEイメージ
- Binトレースログ
- パケット キャプチャ
- Txtファイル

vManageはViptela OSを実行し、CLIには2つのモードがあります。

- Viptela CLI:viptelaのすべての機能を含む
- vShell:デバイス内のUNIXシェル

vManage CLIを使用したcEdgeからのファイルのコピー

注：このセクションでは、リモートcEdgeからvManageローカルディレクトリにファイルを取得するためのすべてのコマンドがvManageから発行されます。

オプション1:Viptela CLI

コマンド構文：

このコマンドは「**use netconf port in VPN 0 to retrieve source_file_name from cEdgeSystemIP**」から**destination_directory_in_vManage**にcEdge usernameを使用して取得するコマンドです。

```
request execute vpn 0 scp -P 830 USERNAME@cEdgeSystemIP:/<source_file_name>
```

<destination_directory_in_vManage>

例 :

vManage CLIに接続し、VPN 0でViptela要求を実行し、Secure Copy Protocol(SCP)コマンドとともにコマンドを実行してコピーを開始します。

```
vmanage# request execute vpn 0 scp -P 830 admin@192.168.10.1:/bootflash/vmanage-admin/cEdge-20211229-023316-admin-tech.tar.gz /home/admin/
The authenticity of host '[192.168.10.1]:830 ([192.168.10.1]:830)' can't be established.
RSA key fingerprint is SHA256:R8KekCx/giwjCqR5woDm+sodjF5kvU7QxnUexoElxAw.
Are you sure you want to continue connecting (yes/no/[fingerprint])? yes
Warning: Permanently added '[192.168.10.1]:830' (RSA) to the list of known hosts.
admin@192.168.10.1's password:
cEdge-20211229-023316-admin-tech.tar.gz 100% 13MB 4.8MB/s 00:02
```

オプション2:vShell CLI

例 :

vManage CLIに接続し、モードをvShellに変更し、Linux形式でSCPコマンドを実行します。

```
vmanage# vshell
vmanage:~$ scp -P 830 admin@192.168.10.1:/bootflash/vmanage-admin/cEdge-20211229-023316-admin-tech.tar.gz /home/ericgar/
admin@192.168.10.1's password:
cEdge-20211229-023316-admin-tech.tar.gz 100% 13MB 4.7MB/s 00:02
```

確認

vManageでViptela CLIからvShellにモードを変更し、ファイルが正しくコピーされていることを確認します。

```
vmanage# vshell
vmanage:~$ ls -l
total 12976
-rw----- 1 ericgar users 13285905 Dec 29 21:21 cEdge-20211229-023316-admin-tech.tar.gz
```

vManage CLIを使用したcEdgeへのファイルの送信

注 : このセクションでは、vManageローカルディレクトリからリモートcEdgeストレージにファイルを送信するためのすべてのコマンドがvManageから発行されます。

コマンド構文 :

このコマンドは「**use netconf port in VPN 0 to copy source_file_name into /bootflash/vmanage-admin/ at cEdgeSystemIP with username**」と読み替えられます。

```
request execute vpn 0 scp -P 830 <source_file_name> username@cEdgeSystemIP:/bootflash/vmanage-admin/
```

オプション1:Viptela CLI

例：

vManage CLIに接続し、VPN 0でViptela要求を実行してコマンドをSCP構文とともに実行し、コピーを開始します。

```
vmanage# request execute vpn 0 scp -P 830 /home/admin/packet_capture_cEdge.pcap
admin@192.168.10.1:/bootflash/vmanage-admin/
admin@192.168.10.1's password:
packet_capture_cEdge.pcap 100% 13MB 3.8MB/s 00:03
```

オプション2:vShell CLI

例：

vManage CLIに接続し、モードをvShellに変更し、Linux形式でSCPコピーを実行します。

```
vmanage# vshell
vmanage:~$ scp -P 830 /home/ericgar/packet_capture_cEdge.pcap
admin@192.168.10.1:/bootflash/vmanage-admin/
admin@192.168.10.1's password:
packet_capture_cEdge.pcap 100% 13MB 3.8MB/s 00:03
```

確認

cEdge CLIに接続し、`bootflash/vmanage-admin/`の内容を表示して、ファイルが正しくコピーされていることを確認します。

```
cEdge#dir bootflash:/vmanage-admin/
Directory of bootflash:/vmanage-admin/
```

```
1498499 -rw- 13285905 Dec 29 2021 16:29:27 -06:00 packet_capture_cEdge.pcap
```

注：cEdgeの宛先ディレクトリは常に**bootflash:vmanage-admin**である必要があります。これは、これが転送に対する書き込み権限を持つ唯一のディレクトリであり、それ以外の場合には転送が失敗するためです。

```
vmanage# request execute vpn 0 scp -P 830 /home/admin/packet_capture_cEdge.pcap
admin@192.168.10.1:/bootflash/
admin@192.168.10.1's password:
scp: /bootflash//packet_capture_cEdge.pcap: Permission denied
```

注：ルートブートフラッシュまたは他のディレクトリ内のファイルが必要な場合、コマンドを使用してファイルを直接移動することはできません。代わりに、目的の宛先にファイルをコピーし、元のファイルを削除します。

vManageからローカルコンピュータへのファイルのコピー

選択肢1. Linux/Mac端末

コマンド構文：

コマンドは次のように読み取られます。source_file_nameをvManageからlocal_destination_pathにvManageユーザ名でコピーします。

```
scp vManageUsername@PublicIp:<source_file_name> <local_destination_path>
```

例：

ローカルのLinux/Mac端末に接続し、SCPコマンドを実行してファイルを目的のディレクトリにコピーします。

```
adminIT@cisco:~$ scp admin@10.88.244.25:packet_capture_cEdge.pcap /Users/adminIT/Downloads/viptela 20.5.1
```

Password:

```
packet_capture_cEdge.pcap 100% 13MB 3.6MB/s
```

注：フェッチするファイルはユーザのホームディレクトリに置くことを推奨します。それ以外の場合は、ディレクトリ権限を確認する必要があります。

オプション2:FileZillaまたはその他のFTPまたはSFTPクライアント

接続する相手：

- プロトコルまたはポート22としてのSFTP
- vManage URL、パブリックIPまたはプライベートIP (vManageがオンプレミスの場合)
- 有効なユーザ名とパスワードを使用する

右側に、vManageユーザのホームディレクトリ内のファイルがリストされます。次の図に示すように、ファイルを転送する左側のローカル宛先にドラッグアンドドロップするだけです。

The screenshot shows the FileZilla SFTP client interface. The top bar indicates the host is sftp://10.88.244.25 and the user is ericgar. The status window shows a successful file transfer of packet_capture_cEdge.pcap (13285905 bytes) from the remote site /home/ericgar to the local site /Users/ericgar/Downloads/. The main pane shows the local site on the left and the remote site on the right. The remote site contains a directory listing with files like Untitled Document.pdf, VBOND-CERT-LAB1.cer, and packet_capture_cEdge.pcap. The bottom status bar shows the transfer progress at 67.0%.

関連情報

- [vEdgeとvManage間でのファイルの転送](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)